慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫昭和四十六年度彙報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1971
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.10 (1971.) ,p.313- 315
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000010-0313

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

人　事

四十六年四月一日を以て、助教授太田次男君は教授に、専任講師尾崎康君は助教授に昇格した。

文庫委員会

十二月十五日正午より、図書館記念室に於て開き、文庫長より文庫の近況・研究計画等を報告し、来年度より、本文庫に大学院学生を対象とする講座を新設し、本講座は本塾大学院の履修単位とすることを諮り、承認。昭和四十七年度より開講することに決定。また教授阿部隆一、講師尾崎康、嘱託大沼晴暉三君の中華民国出張の件を決定した。

研究調査

前年度に引き続き左の研究題目を中心として、調査研究と副本作成を進めた。

(一)我が国古典に関する室町以前成立の注釈書並に室町物語類
（担当者　松本隆信・平沢五郎）

(二)室町以前の日本漢学資料
(1)邦人撰述漢詩文集類
(2)邦人撰述漢籍注釈書類
(3)日本現存漢籍古写本の綜合的研究
（担当者　阿部隆一・太田次男・尾崎康）

特に本年度に於ける各文庫員の研究調査題目は左の如し。

一、古文尚書古写本の研究　阿部隆一
一、室町以前本邦伝存漢籍資料類の調査　太田次男
一、室町以前に於ける白氏文集受容についての研究　松本隆信
一、室町時代物語の研究　平沢五郎
一、金葉和歌集諸本の研究　尾崎康
一、六朝隋唐時代撰述史書の研究
一、本邦現存漢籍古写本の調査　阿部隆一・尾崎康
一、漢籍引用の多い鎌倉以前に成立せる国書に於ける引書索引並に証注　白石克
一、日本旧刊本（古刊経）の研究

協同研究の「聖徳太子伝暦」の輪読研究会は毎週行なわれ、今年度は特に十七条憲法の本文・訓読について諸本間の比較校勘の研究成果を「斯道文庫論集」第十輯に公刊することにした。

一昨年度より開始せる中華民国(台湾)現存漢籍善本の調査及びそのマイクロ・

フィルム将来の研究計画（担当者阿部隆一）については、昨年に引き続きハーバート大学燕京研究所より、教授阿部隆一君に対し一九七〇～七一年度の研究補助金が交附された。後記の台湾出張により、本計画の主眼とせる楊守敬旧蔵の故宮博物院観海堂蔵本等の日本旧鈔・旧刊・日本人手校書入の漢籍類についてはほぼその調査を完了し、それに関聯する宋・元刊本の調査に入り、そのマイクロフィルムが故宮博物院より漸次到着しつつある。

教授阿部隆一君を代表者とする「漢籍総目録の編纂（経部叢書類）」について、文部省の昭和四十六年度一般研究（B）の科学研究補助金一百八十万円を受け、その編纂を開始した。

文庫員が右の研究題目に関聯して、本年度に於て公表せる研究成果は左の通りである。

阿部隆一　故宮博物院蔵楊氏観（中華民国立国）海堂善本解題――中国訪書志一――（「斯道文庫論集」第九輯）

室町以前成立聖徳太子伝記類書誌（聖徳太子研究会編「聖徳太子論集」所収）

山鹿素行の史書論（「日本歴史」第二八四号）

太田次男　内閣文庫蔵『管見抄』について（「斯道文庫論集」第九輯）

松本隆信　中世における本地物の研究（一）（「斯道文庫論集」第九輯）

影印室町物語集成第四輯（東京・汲古書院刊）（南都本・南都異本）平家物語上下（古典究研会叢書・東京・汲古書院刊）

「箱根本地由来」翻刻と解説（東京・角川書店刊「箱根町誌」第二巻収）

白石　克　金沢文庫保管の相州霊山寺版「大方広仏華厳経十六巻」について（「金沢文庫研究」通巻一八〇号）（称名寺所蔵）

金沢文庫保管の「仏説観普賢菩薩行法経（刊経）」について（「金沢文庫研究」通巻一八一号）（称名寺所蔵）

調査出張

上記の研究課題に関する諸本の調査及び複写撮影のため、都内及び近傍の諸所に出張したが、主な地方出張をあげれば

六月二十一日―二十五日　東北大学附属図書館・宮城県立図書館蔵本調査　出張者　松本隆信・平沢五郎

七月三日―六日　四天王寺・四天王寺女子大学・天理図書館蔵書調査並複写　出張者　阿部隆一

九月十九日―二十三日　天理図書館・東大寺図書館・仁和寺・北野天満宮・大谷大学図書館・京都大学附属図書館蔵の白氏文集及び十七条憲法関係図書調査　出張者　太田次男

十月二十三日―二十六日　米沢市立図書館蔵本調査　出張者　阿部隆一

十二月十四日　真福寺・蓬左文庫蔵図書調査　出張者　太田次男

海外出張

中華民国現存漢籍善本調査並にそのマイクロフィルム複写の為に、阿部隆一君は昭和四十七年一月二十八日、尾崎康・大沼晴暉両君は二月七日台北に出張した。尾崎君は盲腸炎にかかり、二月廿日

帰国の止むなきに至ったが、両君は国立故宮博物院を中心として、楊氏観海堂蔵本・同院蔵並に北平図書館原蔵の宋・元刊本を主として調査し、四月二十二日帰国した。

図　書

四十六年三月末現在、その整理を完了し、登録せる本年度の図書増加数は、三二一冊、うち寄贈書は五七冊、斯道文庫賛助員会寄附金による購入本は一九冊、累計八八〇七七冊、他に寄託図書二万八千冊、計十一万六千七十七冊。本年度の逐次刊行物の増加数は一八種である。

本年度の主な寄贈者（定期刊行物を除く）の芳名を左に録して、感謝の意を表する。

亀山聿三殿　長沢規矩也殿　中華民国国立故宮博物院殿　同国立中央図書館殿　天理図書館殿　内閣文庫殿　国立国会図書館殿

本文庫賛助員会寄附金による主な購入本は、慶長古活字版の礼記等一九冊である。

文献複写

マイクロフィルムによる副本作製は、公私の文庫所蔵本について行ない、その全巻を撮影せる現蔵量は三月末現在整理登録を完了せるもの、累計百呎ネガフィルム五九二リール、同ポジフィルム四〇三リールに達した。

昭和四十六年度文部省私立大学研究設備補助金により、北京国立博物館原蔵敦煌文書四八八巻のマイクロフィルム八六リールを購入した。

刊行事業

一、斯道文庫論集　第九輯　A5判三九七頁、十二月一日発行